（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	中央愛児園

公表日　2025 年 11 月 20　日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	0	・構成人数に応じて、年度で使用する部屋を変更している。 ・給食時に利用者が落ち着いて食べられるよう、クラス関係なくその日の人数に応じて配置している。 ・お子さんの特性や給食時のアレルギー等の状況によって部屋を分けられる程のスペースを確保し、過ごしやすい空間を作っている。	・不安が大きい子どもが落ち着ける小スペースの確保子ども同士の衝突などが発生する事があるため、お子さんに応じて、広い部屋を選んで活動するなどの配慮は、より必要になってくる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	0	・臨機応変にコミニュケーションをとっている ・作業療法士、言語聴覚士等の職員も日々の保育に加わって、総出で支援にあたり、子どもの状態に応じてマンツーマンで職員が付く対応もとっている。 ・安全に運営するために適宜配置を考慮している	・できればマンツーマンで食事の介助をするのが望ましい医療ケアの必要な方の受け入れができない今年度から総職員数が減ったため、登園児数によっては子どもを見れるギリギリな職員数になっている場合がある。 ・園児の数も増えてきたので、体制を整えたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	0	・アレルギー児に応じた環境設定をしている。 ・性被害防止パーテーションを使用している。 ・写真カードや声掛けの実施・活動内容を示すパネルや、活動する部屋を示すマークなど、視覚的なヒントとなる物を環境に多く取り入れている。 ・給食のメニューと使われている食材を毎日掲示し、食育をねらいにした環境も整えている。 ・その日登園のお子さんに合わせて環境を調整しています。 ・園児が自分のクラスの部屋だと認識できるように環境調整や活動を行っている写真やイラストによる視覚呈示を行っている。	・大人の女性用トイレの和式トイレを洋式に改善してほしい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	0	・活動人数に応じて、使用する部屋を変更している。 ・毎日の消毒、部屋の大きさに応じた活動の実施日々の清掃の他、使用した玩具や用具は消毒作業を行っている・感染症予防により、大人はマスク着用 ・園内の備品等を都度アルコール消毒 ・夏休み時には害虫駆除、カーペット清掃を実施。 ・活動で調理をする際は、衛生管理マニュアルを職員が把握した上で実施。 ・アレルギー児に対して、部屋を分ける、パーテーションで部屋を区切るなどで対応。 ・園内の換気、室内温度の調節。消毒をその都度丁寧に行っています。通常の清掃に加えカーペット清掃を定期的に行っています。 ・毎日の清掃はしっかりと行い、園児が安心して過ごせるように清潔を保っている活動人数によって環境設定をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	0	0	・午睡やクールダウンの際に使用できる部屋がある。 ・お子さんの状況に応じて、いつでも個別に部屋移動ができ、落ち着けるよう環境を作っている。 ・お子さんの状況、希望に応じて、給食時の別室対応も柔軟に行なっている。 ・アレルギー児への対応として、部屋を分けるなどを行なっている。なるべく、お子さんが落ち着ける場所を検討しています。 ・個別に対応が必要な場合にも使用できる部屋がある ・お子様の状況に合わせて個室も利用している	・部屋が空いていない時がある。 ・お昼寝の場所の確保個別指導が重なると部屋に空きがない場合がある

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	0	・必要に応じてすぐにミーティングをおこなっている ・定期的に会議を開き、園の方針や各お子さんへの対応について職員全員で話し合い、共有している。 ・保育後に、その日の活動やお子さんの様子について振り返りを行なっている。 ・非常勤のリハビリ職員も加わり、年に一度ケース会議を実施。 ・お子さんやご家族の状況について、毎朝のミーティング時に職員間で共有している。 （ご家族の希望に応じて、共有する範囲は制限もしている。） ・その日の活動内容や目標、一日の流れは職員全員で打ち合わせを行って共有している。 ・活動内容は事前に日案として提出し、職員間で確認、話し合いをしている。 ・会議などで職員の意見を出し合い改善できることは積極的に改善している	・勤務時間や勤務日に違いがある職員とのやり取りが不十分 ・一日の振り返りを当日にできない日もある。 ・欠席連絡などが職員間で共有しきれていない時がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	・評価表を職員で読み合わせ等、共有して検討する時間を設けている。 ・すぐに話し合いで改善するように努めている ・まとめられた評価を職員間で読み合わせして改善点を話し合っている ・自己評価アンケート、行事でのアンケート等は全職員で読み合わせをし、業務改善に繋がる策を話し合い、実施している。 ・会議等で共有、話し合いをしています。 ・第三者評価の受審、自己評価の実施保護者からの意見を把握し、職員間で共有、検討している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	・日頃から業務に対してのやりづらさや疑問点がある場合、職員会議の議題に挙げて検討をしている。 ・誰もが発言しやすい雰囲気づくり月に定期的な職員会議を２回設定し、現場職員間でのミーティングを１回行うようにしている日々の業務についての会議を定期的に実施し、各職場の意見を反映して試行錯誤している。 ・職員面談が行われています。職員会議などで意見を出し合っている自己評価の結果を職員間で共有見直ししている	・勤務時間、勤務日に会議に参加できない職員の共有の仕方
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	0	・評価結果の読み合わせをしている ・保健所による検査などを定期的に行い、結果は職員に共有している。 ・結果を元に職員間で話し合い、業務改善に繋げている。 ・第三者評価の受審第三者評価評価・監査等の評価結果を受けて改善に努めている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	0	・専門職に合わせた研修や、zoom等での研修が行われている。 ・各区主催の研修会や所属機関主催の研修会等の情報を受け、可能な限り参加できる体制を組むと同時に自己研鑽の意欲向上のにつなげられるように研修報告を行っている ・全職員が、頻度の偏りなく、様々な分野の外部研修を受けている。 ・虐待防止、エピペンの使用法など、法人や園全体に対する研修も実施している。 ・研修報告を行い、研修内容が全職員に共有される。 ・参加できる研修会には積極的に参加させてもらっている研修を受講できる機会が増えた	・研修で職員が足りない時の人材の確保 ・非常勤等の研修機会が少ない
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	0	0	・活動前に全員でミーティングを行い、意見を出し合っている1日のプログラム内容の説明とねらいを保護者全体へ伝えること、担当した園児の保護者へ個別にフィードバックをしている ・5領域に沿って日案を作成し、事前に職員間で確認をした上で支援に当たっている。 ・園のパンフレットに記載されている通りにプログラムが作成されている。 ・ホームページに公表している	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	0	・支援計画を作成するにあたって、保護者と面談をし、前期の評価と次の目標を一緒に設定している。 ・個々の目標に合わせた活動設定半期の計画の面談のほか、保護者からの要望や個に合わせた目標変更等には適宜計画書を更新している ・前期、後期で保護者と面談を行い、個別支援計画に沿って、お子さんの状況や次の目標、保護者の希望など、丁寧にアセスメントを行っている。 ・多職種で会議や内容の確認を行っています。 ・個人面談を実施して保護者と一緒に計画を作成している	・作成にあたり、支援に関わる職員間で共有、検討会議が実施できると望ましい
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	0	・職員でケース会議を実施し、課題点等を検討している。 ・随時ケース会議を設けて職員全員が共通理解を持つようにしている ・お子さん一人ひとりに現場で関わる職員が担当として付き、アセスメントから個別支援計画作成、保護者へのお渡しまで行う。 ・児童発達支援管理責任者も含め、全職員で全園児の個別支援計画を確認し、作成している保育士、常勤ＯＴ、常勤ＳＴによる共有、検討を行っている	・勤務時間、勤務日の決まっている職員との会議等の設定がもちにくい非常勤職員（PT,OT,ST,心理）との共有、検討も必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	0	・職員内で共有し、ケース記録に支援目標を記載することで、全職員が支援目標を把握することができる ・毎回記録を通して支援や活動内容が適切かどうか確認している日々のケース記録には個別支援の目標を記載し、どの職員でも目標を確認しながら支援できるようにしている ・お子さんやご家族の状況とそれに対する対応を担当職員が主となって全職員に都度共有し、どの職員でも同じ対応がとれるよう努めている ・ケース記録に目標が記載されていることで日々関わっている職員間では共有されている	・担当全員との共有
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	0	・発達検査を実施しています ・年に１度発達検査を実施している	・標準化されたツールのアップデートが必要
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	0	・各分野の専門職との、相談、話し合いのうえで支援内容を設定するようにしている ・個別支援計画には「5領域」「支援目標」「支援内容」「ご家族の希望」「移行支援」などの項目があり、アセスメントを元に具体的に記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	0	・今年度から立案を保育士以外のスタッフも行い、園児が登園する前に保育に入るスタッフで活動ねらい等を確認する ・職種関係なく活動プログラムを立案、参加日中支援に携わる職員は職種関係なくプログラムの立案、実践を行っている ・活動内容によって作業療法士、言語聴覚士などの専門的な力もお借りして活動を進めるようにするなど、コミュニケーションをよく取りながら立案している。 ・1日のリーダーを2人体制にし、意見を出し合いながら立案をしている。 ・今年度より、常勤ＯＴ、常勤ＳＴもプログラム立案を行っている	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0	・ST.OTが保育の立案をするようになって、新たな視点の活動が行われるようになった ・５領域に応じて活動内容を決めている ・同じプログラムでも、多職種で実践する事で視点やアプローチに変化をつけるようにしている ・日替わりで5領域の中からテーマが決まっており、それにそって立案をしている。 （月曜日は健康・生活/火曜日は運動・感覚など） ・特定の曜日しか登園しないお子さんのプログラムが固定化されないよう、5療育のテーマは毎日ランダムにしている。 （月曜日が健康・生活だったら、次の週の月曜日は健康・生活以外となる） ・保育士、ＯＴ、ＳＴによる立案により、各専門性を活かした内容を取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0	・お子さんの状況や活動内容に合わせて、個別に活動を行う場合もある。 ・集団活動と個別指導を組み合わせた支援を行っている	・もっと個別指導と集団保育が組み合わされた支援ができれば良い
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	0	・時間を決め、定時に集まり、その日保育に入るスタッフでねらい等を確認している。 ・全員で毎朝集まって活動内容を把握してしている毎日設定した時間に行っている ・朝のミーティングは必ず実施し、それぞれの職員の動きや支援内容、その他の予定(見学者等)をホワイトボードに記載しながら確認している ・その日の活動に関わる職員のみで、活動の詳しい打ち合わせも行なっている。 （活動のねらいや活動の流れなど） ・毎朝ミーティングを行っている職員間での打ち合わせを毎日行っている(打ち合わせの方法を見直した)	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	2	0	・個別担当の専門職と意見交換、改善点にむけたアドバイスを受けている ・園児に合わせた支援終了時間にばらつきがあり職員が揃うことが難しいが、翌朝のミーティングで共有をしている ・その日の子どもの様子や活動の振り返りを職員で話し、日案にも振り返りを記録している ・気付いた点、共有したい情報などある場合は、伝えいるように心がけている	・活動に参加した職員全員を集めての振り返りはできていないことが多い。 ・振り返りの時間がしっかりと取れれば良い ・その日支援に関わった全職員で振り返りできるとよい(時間がとることが難しい現状あり)
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	・クラスの担当関係なく、全員が記録を記入できるようにしている ・個別支援計画に沿った記録用紙を作成している ・お子さん一人ひとりの一日の記録、日案の振り返りは必ず記録し、お子さんの変化や状況を確認できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0	・モニタリングを職員内で共有し、職員が回覧できるファイルに保管している	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	・関係者会議を施設内で行い、その報告を職員会議内で共有している。 ・児童発達支援管理責任者が参加しているニーズ、相談内容に応じて対応する職員を決めている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	0	・医療的ケアが必要な子どもに対する緊急時のマニュアル作りと全員の共通理解お子さんが利用している他事業所や保育園、幼稚園と連携をとり、訪問や見学も行なっている。 ・必要に応じて、関係機関と連携を図っている	・保護者より要望がある場合や関係機関からの依頼がある場合には訪問、会議等設定しているが、どちらかというと受身的な機能でとどまっている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	0	・併用機関先と連携をとり、お互いに見学や相談等を行なっている。電話や見学、保育交流を相互に行っている ・保護者からの希望、保育園、幼稚園からの希望に応じて、連携をとり、見学や訪問を行っている ・摂食など、お子さんの状況によって言語聴覚士、作業療法士などの専門職に繋ぎ、先方との情報共有や時に助言も行なっている。 ・併行先の保育園とは積極的に連携している保護者や保育所・幼稚園から要望がある場合は、訪問を行っている。また、電話でのやりとりを行っている	・決まった書式はなく、保護者の要望に沿って作成している

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	0	・就学支援シートの作成学校からの依頼、保護者の要望に合わせて書類を作成している	・就学先と直接連携を図っていないため今後課題(以前は特定の特別支援学校(先方より依頼あり)と連携を図っていた)
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	3	0	・お子さんやご家族の状況に応じて、他の事業所とも連携をとっている。(関係者会議、見学など) ・お子様が利用している他事業所と連携を図っているケースもある	・区内連携が希薄で、区内センター2箇所どちらも受身な姿勢を感じる
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	0	0	・個人の適正に合わせた研修の参加研修情報を受け、可能な限り受講できる体制を組んでいる ・ST、OT、PT、心理士、看護師、医者など多くの職種が在籍しているため、場合に応じて助言を多くいただいている ・外部研修も多く参加できるようになった ・外部研修・オンライン研修への参加	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	1	0		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	0	・練馬区の保育園と年に数回交流している。 ・保育交流に親子で参加する機会を設けている自園での交流機会と訪問での交流機会を設定している　また、近隣の子ども広場を活用し交流を設けている ・地域の保育園と保育交流を年3回ほど行なっている ・保育園に訪問しての交流(給食込み)も行なっている ・活動で区民センターへの訪問し遊ぶことを行なっている ・定期的に行っています保育園に協力していただいて交流保育を実施している保育園との交流の機会を設けている	・なるべく多くの園児が参加できる機会があれば良い
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	・選択制の分離保育が増えてきたが、保護者の迎えの際に日中の様子を伝えたり、保育の様子を写真で記録し、掲示している。 ・送迎時に必ず保護者と子どもの様子を話し合うようにしている会議やミーティングの他、職員間で風通しの良い雰囲気をもつように心がけている ・その日のお子さんについての保護者とのフィードバックは必ず行なっている。 ・保護者の方の中で困りごとがあれば適宜面談なども実施している。 ・日頃から保護者とコミュニケーションをとるなかで、共通理解を持てるように努めている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	0	・月に一回程度、保護者向けの研修を設定している ・保護者研修会を月一で実施。(就学についてや歩行の介助についてなど) ・保護者研修会を実施している	・研修への参加者が少ない。特に前年度と同じ内容だと「一度聞いたからいい」と不参加になるケースが多いペアレント・トレーニングが提供できると良い
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	0	・加算など従来のものから変更で起こった場合は必ず書面にて各ご家庭に配布している。 ・運営規定や支援プログラムは園の壁にも掲示している。 ・適宜、保護者から質問があれば担当者から説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	0	0	・必ず保護者と面談を行っている ・個別支援計画を作成するにあたっての面談を行い、ご家族の希望や困りごとに応じて作成をしている。 ・個別支援計画の「ご家族の希望」の欄にはアセスメントでのご家族から出た希望を記載している。 ・個別支援計画書評価、作成のための面談にて聴取を行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	0	・支援計画をお渡しする際には、作成した担当職員が直接お渡しし、内容の説明とサインでの同意を頂いている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	・支援計画等の面談以外に、就園就学関係で保護者の相談に応じることがある。 ・今年度から医療相談がいつでも受けられるようになった ・日頃から保護者とコミュニケーションをとり、悩み等は相談に応じている。 ・ご家族の状況に応じて、他機関や必要な物事について助言、支援をしている。 ・内容によっては別室で個別対応をとる、心理士等の専門職に繋げるなど、行なっている。 ・日頃、保護者からの悩み、相談を受けた場合、随時対応している。 ・面談の実施	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	0	・保護者研修会を実施し、保護者同士の集まりの場を設けている。日々のプログラムに親子プログラムを盛り込んだり、行事で保護者間交流ができる機会を設けている ・お子さんを預かり、別部屋で職員を介して保護者同士が交流する機会をつくっている。 ・心理士も同席し、お子さんの活動を見ながら、日頃のお子さんについての悩みなどを話す場を作った。 ・保護者が幹事となって開催する「おもちつき」を実施している。 ・行事には保護者や家族が参加できるよう機会を設けている行事や保護者研修会の実施	・他学年の保護者と交流する機会がなかなかない ・保護者会などの保護者交流ができる場が少なく、交流が保護者の自主性に委ねる形になってしまっている。 ・きょうだい児同士の交流機会はなかなか設けることができていない。日々の活動の中にも交流ができる機会が設けられれば良い
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	・相談や申し入れの際には適切な職員に繋ぐなども行い、スムーズに対応できるようにしている。 ・相談内容に応じて、別室で個別に聞くなども行なっている。日頃、保護者とのコミュニケーションの中で、相談、対応をしている。 ・必要に応じて個別面談を設けている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	・Instagramを活用し、日々の保育の様子やお知らせを発信している。 ・園だより(サンサン)を毎月発行 ・インスタグラムでの情報発信 ・一斉メールでの通知 ・その他園行事など、お知らせを書面配布SNSの運用を開始した。 ・写真や掲示物で情報発信をしている	・Instagramの活用方法、HPの見やすさの工夫 ・個人情報の観点で個人が特定されないよにしているが、反面こどもの表情がわからないとの声もある
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0	・インスタグラムなどで写真をアップする際には、お子さんの顔は写らないようにする。 ・個人情報が入った書類等は鍵付きの棚に保管し、出退勤の際には必ず閉める。 ・保育実習生にお子さんの疾患等の情報は伝えないようにしている。	・保護者がこどもの写真購入のシステムがない
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0	・個々に応じたコミュニケーション手段を職員全員で把握・子どもに対し、絵カードを用いた方法で意識疎通をとったり、情報伝達を行なっている。 ・保護者に対し、保護者の方と一緒にメモに起こして確認している。 ・保護者に対し、必要事項はメモでお渡しするなどで対応し、確実な情報伝達を行なっている。 ・写真やイラストを利用し、お子様にわかりやすく伝える手段をとっている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	0	・おもちゃ図書館を開催している。 ・おもちゃの図書館・ボランティア団体に園をお貸しし、地域の方も参加できる ・おもちゃ図書館を開催している。 ・おもちゃ図書館や研修会の実施	・防犯対策研修は外部にも公表しているが、行事等はない
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	0	・看護師や医師の研修を受けている。 ・毎月の避難訓練、医療講習等適宜行っている ・月1回のペースで保護者と園児を含めた避難訓練を実施している。	・防犯訓練は未実施
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	・毎月1回避難訓練を行っている。 ・業務継続計画に則って、備蓄の場所や数、 ・簡易トイレ等の使用方法が周知されている。 ・月1回のペースで保護者と園児を含めた避難訓練を実施し、非常扉からの避難も訓練内容に取り入れている。 ・毎月、避難訓練を実施している	・防犯訓練が行われていない

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	0	・持病のある児の把握をし、てんかんの様子の動画等を職員内で共有している。 ・入園時の医療面談、医療に関する記録の記載、診療情報提供書の提出個別の緊急時マニュアル作成し、訓練を行なっている ・お子さんの状況に応じて、発作発生時の動画などを保護者に提供して頂き、全職員に周知されている。 ・服薬等は園の医者や看護師に情報共有され、副作用等も全職員に周知されている。 ・診療情報提供書による情報を得いている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	0	・園内にエピペンの常備をし、職員がエピペンの使用方法を把握している。 ・給食配膳前に除去食のダブルチェック、食後の消毒、着替え密に保護者から聞き取り、連携を行っている ・お子さんの主治医の判断に則って、対応を進めている。 ・主治医の指示のもと園の医師が確認対応しています ・アレルギーの有無については、診療情報提供書により情報を得ている	・保護者を通じての情報が多い。場合により、医師の指示書が必要(書面により、情報の正確性を図る)
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	0	・危険な箇所には保護等行っている緊急時の対応訓練や、アレルギー児に対するエピペンの使用法の研修、エピペンを園内に常備するなど、安全に支援をするための環境を整備している。	・安全管理について職員の認識不足 ・AED使用時の訓練や救急車を呼ぶ際の訓練など、より安全に支援するために、まだ訓練や研修が必要な事はあると思われる。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	・会議で報告し、再発防止に努めている報告書に記載し再発防止を職員間共有している ・出来事は当日中に共有、当時の状況と対応の整理が行われ、再発防止の検討をしている ・ヒヤリハット案件は、情報共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0	・虐待防止委員会による研修が開催されている ・虐待防止委員会の設置、複数の職員で子どもを見守る体制研修会等に参加している ・財団内に虐待防止委員会を設置 ・虐待防止の研修を定期的に実施虐待防止研修がある ・虐待防止研修の実施、全職員対象となっている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	0	・ベビーラックなどの使用時に身体拘束の欄に記入し、保護者の同意をえてから使用 ・ベビーラックの使用など、使用の意図などを保護者に説明し、個別支援計画に記載しているまた、個別支援計画作成にあたる面談時や個別支援計画をお渡しする際にも説明をしている ・個別支援計画書に記載し、保護者の同意を得ている	